

うおーみんぐ

NO.19 冬

京都府地球温暖化防止
活動推進センター通信

地球温暖化問題に取り組む人のための通信です。

実践活動への意欲を、アイデアを、仲間同士の関係を、ホットに温めます！



(写真)

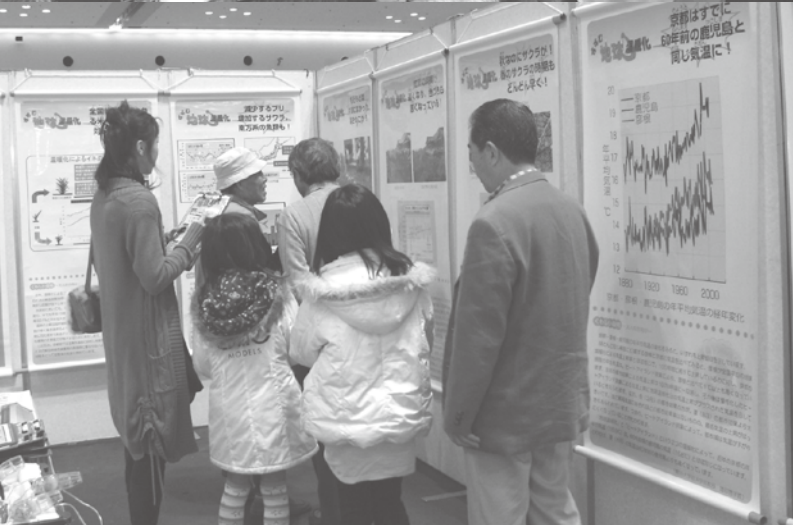
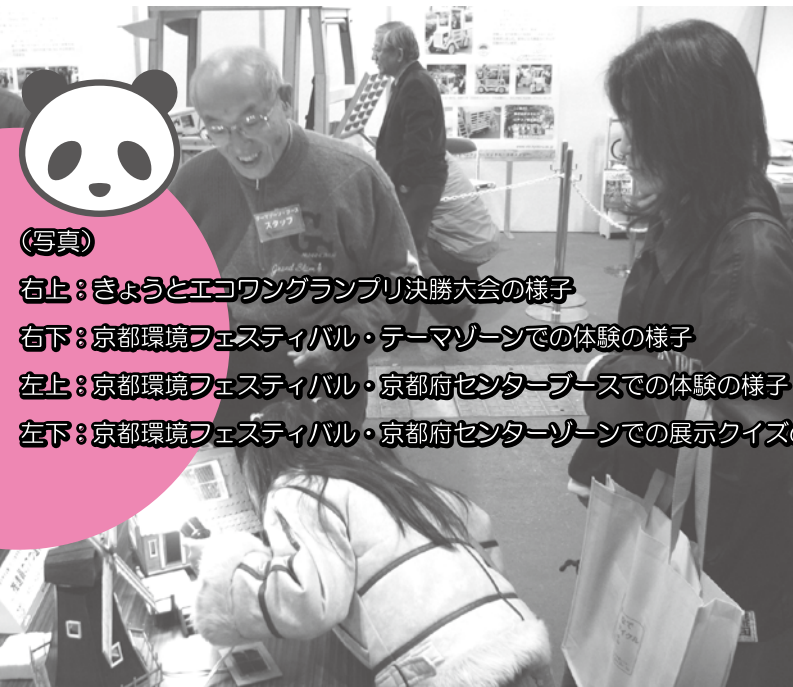
右上：きょうとエコワングランプリ決勝大会の様子

右下：京都環境フェスティバル・テーマゾーンでの体験の様子

左上：京都環境フェスティバル・京都府センターブースでの体験の様子

左下：京都環境フェスティバル・京都府センターゾーンでの展示クイズの様子

巻頭特集 エコリフォームのススメ



京都府地球温暖化防止活動推進センター
Kyoto Center for Climate Actions

エコリフォームのススメ

きょうと ECO-1 グランプリ 2008
グランプリは京都市立雲ヶ畑中学校！

省エネで心地よい住まい方・暮らし方を提案
京都環境フェスティバル 2008

活動レポート

新しい掛け軸型展示を作成しました

京都北都信用金庫「ほくとエコロジー積金」スタート
寄付をいただきました

省エネルギーイベントのお知らせ

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成 15 年 10 月 10 日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げた NPO 法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。

特集

エコリフォームのススメ

温暖化防止のためには家庭での省エネも欠かせません。かといって、暑さ・寒さを我慢するだけの省エネはなかなか長続きしないばかりか、場合によっては健康に悪影響を及ぼすこともあります。そこで効果的なのが住宅を省エネ型にすること。これは、新築時だけでなく、リフォームで実現することも可能です。

そこで、当センターが事務局を務める京都市省エネ住宅・省エネルギーフォーム普及協議会では、セミナーや展示会を行って省エネルギーフォームについての情報をお伝えしています。

ここでは、12月3日に実施した「事業者向け省エネルギーフォームセミナー」での『省エネルギーフォーム必須情報』（講師：近畿大学准教授 岩前篤氏）の内容をご紹介します。



歴史的に冬を重視してきた日本の住宅

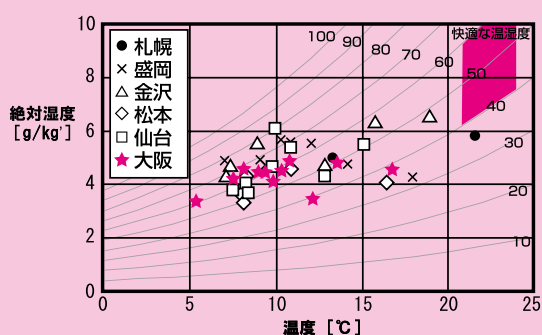
「住宅」と聞くとどのようなものをイメージされるでしょうか。例えば、フランスの宮殿を見て「フランス人はみんなこんな住宅にすんでいるのか」と思う人はいませんよね。なのに、日本の寺社仏閣を見て「これが日本の伝統的住宅の姿だ」と思ってしまう人がいます。これは誤解です。現存する日本最古の民家は、土壁で

覆われており、とても通風を促進しているものではありません。「家のつくりやうは夏をむねとすべし」（徒然草）という言葉がありますが、元来、日本の住宅はむしろ冬をむねとしたものであったのです。現在も住宅のエネルギー消費量は冬の方がかなり多いので、やはり冬の対策が重要となります。



実は大阪は札幌やロンドンより寒い!?

実態：寝室の温湿度



朝と晩だけつけて昼間や夜間には消すという暖房方法は、実は日本特有のもので、一日の室内温度の差がこれほど大きい国は珍しいのです。

また、室内温度は地域によっても差があります。実は日本では、寝室の温・湿度は寒冷地ほど高く温暖地ほど低いのです。図を見ると、大阪の寝室温度は、札幌のそれよりもはるかに低く、なんと10℃以下にまで下ることがわかります。室内がこれほど寒いことは世界的に見ると普通ではなく、このことを海外で話すとびっくりされます。イギリスには住宅の健康・安全性の指標があり、18℃を下回ると「コールド」と表記され、改善指令がでます。日本の住宅は「コールド」どころではありません。



住宅と健康の関係

国民所得が上らない一方で、医療費は上昇し続けています。病気の治療に加え、これまで以上に病気にならない方策を考えていかねばなりません。そのためにも、住宅の断熱は重要です。

月別の死亡割合を見ると、夏よりも冬の方が多いことがわかります。（次ページ上のグラフ参照）死因別に比較すると、循環器系や呼吸器系などは季節変動が顕著です。事故による死亡

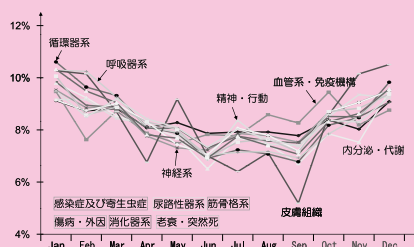
も、冬場には非常に多いです。例えば寒い脱衣所と熱い浴槽を出入りすることでヒートショック（急激な温度差によって体に負担がかかること）を起こし、そのままお風呂で溺死してしまうのです。お風呂だけではなく。室温も廊下もトイレも10℃を下回る状態の中、深夜に温かい布団を抜け出してトイレに行くことは、それだけでヒートショックの危険があります。

寝室の温度

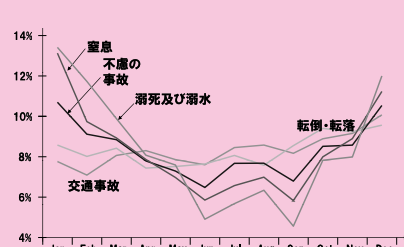
- ④ 寝室は単に寝るだけの空間ではない。
 ◆ 深夜の中で覚醒時のトイレでは、20℃近い温度差に身体を曝す。→洗面所・風呂のヒートショック並み！



季節間変動の明らかな死因



月別死亡数：事故による死亡



省エネのためだけでなく、安全のためにも断熱に投資しよう

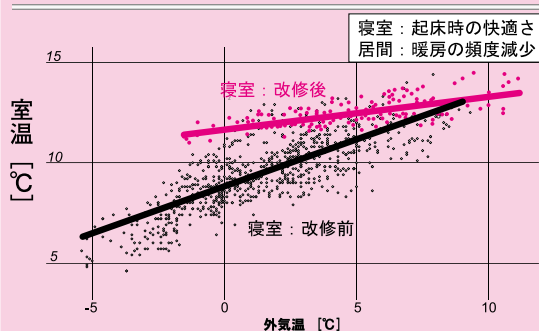
断熱をしっかりすれば、それだけで、暖房をしていない状態のトイレの室温を「旧省エネ基準」に沿って建てられた住宅に比べて5度くらい上げることができます。「省エネのために断熱を！」という言葉に賛同する人は多いのですが、いざお金を支払う段階になると「やっぱりどうでもいいや」となってしまいがちですが、安全性という目で見たとときには、投資効果は非常に大きい。これは、事業者にも消費者にもぜひとも伝えたい点です。



事例を見ると、効果は歴然

マンションでの省エネルギーリフォーム事例を見てみましょう。改修前と改修後の温度を比較すると、明らかに改善しています。外気が0℃を下回っても、室温が10℃を下回ることなく、リビングは朝でも15℃ありますので、朝に暖房を付ける必要がありません。暖房代は改修前の1/4くらいになっています。

改修前後の温度比較



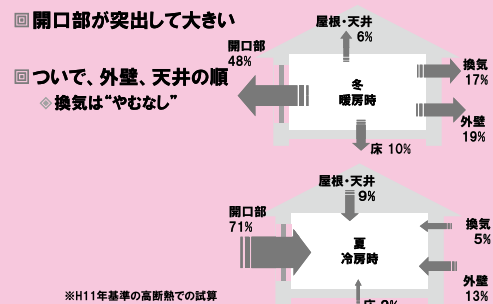
真っ先に手を付けるべきは「窓」

どのタイミングでリフォームすればいいのでしょうか。外壁を修繕するなどのリフォームの際にあわせて省エネの視点も入れる、というのがよいでしょう。

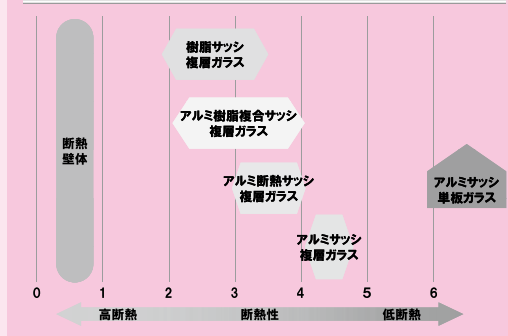
なお、どこを真っ先に省エネするのが効果的かというと、間違いなく窓です。家のどこから熱が逃げるかを見ると、窓やドアなどの「開口部」が圧倒的に大きい。省エネルギーリフォームを行ったときに居住者が最も「暖くなったなあ」と実感するのもこの部分です。

窓の省エネ性能はどんどん上っており、従来の「アルミサッシ+単板ガラス」に比べ、「樹脂サッシ+ペアガラス」であれば、熱が通り抜ける量は1/3くらいになっています。もっとも、これでも通常に断熱された壁よりもはるかに熱を通しますので、「そもそも窓は熱を通しやすい」ということを知っておかねばなりません。

住宅各部位からの熱のやり取り



サッシ・ガラスの断熱性能



省エネルギーリフォームの具体的方法や、その金額・効果を知りたいという方は、『エコリフォームかんたんガイドブック』をご覧ください。当センター事務所でも配布しているほか、<http://eco-reform-consortium.com/> から見ることもできます。

平成 20 年 11 月 15 日 (土)
13:00 ~ 16:30

きょうと ECO-1 グランプリ 2008

グランプリは京都市立雲ヶ畑中学校!

11 月 15 日、京都で行われている温暖化防止活動のコンテスト「きょうと ECO-1 グランプリ 2008」決勝大会を開催しました。この決勝大会では、書類による一次選考を通過した 12 の団体が、それぞれの魅力的な温暖化防止活動の内容を、工夫を凝らしたプレゼンテーションを行って PR しました。

いずれ劣らぬステキな活動ばかりで賞の選考は難航しましたが、最終的にグランプリに選ばれ全国大会への出場権を得たのは、雲ヶ畑中学校の「地域にある自然エネルギーを活用しよう（灯油の利用を 100%削減）」。雲ヶ畑中学校は、会場参加者の投票で選ぶ会場賞とのダブル受賞となりました。（全国大会は、2 月 14、15 日に東京で開催されます。）

👑 グランプリ

- No.11 地域にある自然エネルギーを活用しよう
(灯油の利用を 100%削減)
雲ヶ畑中学校

👑 準グランプリ

- No.03 1 枚の芝生から Eco が広がる
桂高校「TAFF 地球を守る新技術の開発」班
No.04 京都大学におけるレジ袋削減のとりくみ
～無料のままで減らそう!～
京都大学生活協同組合

👑 特別賞

【パートナーシップ賞】

- No.06 京都環境コミュニティ活動 (KESC)
プロジェクト
京のアジェンダ 21 フォーラム

【未来を担うこどもたち賞】

- No.10 みんなでにこにこエコ活動
(にこエコ活動)
向日市立第2向陽小学校

👑 会場賞 (会場参加者の投票によって選ぶ賞)

- No.11 地域にある自然エネルギーを活用しよう
(灯油の利用を 100%削減)
雲ヶ畑中学校

※グランプリとのダブル受賞

参加者の感想

個々の活動はどれもすばしかったです。やれるといいな～、できるかな～という思いはあるものの「よし、やるぞ」が大切だと感じました。

各地域の気候風土を活かした発表を聞き、我々の地域でできることは無いだろうか?改めてグループで話し合ってみたいと思います。

様々な取組の紹介があり面白さを感じました。規模の大きくない取組、身近な取組であることも参考になるという点ですばしいと思いました。この機会に、異なる取組同士が影響し合って発展するということが起こればなお良いと思います。

ECO と元気があふれるグランプリで、地球に元気を与える根っこになると思った。

プレゼンテーションを工夫されている団体が多くて楽しめた。

地域や団体の力が感じられた。

すべての発表が、地域の何かにつながっているようで、どこかで何かが参考になると思う。



グランプリ受賞取組紹介

地域にある自然エネルギーを活用しよう（灯油の利用を100%削減） 雲ヶ畑中学校

↓ 京都市北区の山間部、鴨川の源流に位置する京都市立雲ヶ畑中学校では、地域社会との連携のもと、地球温暖化の防止に向け下のように様々な取組を行っています。

01 地域の人々と協力しての薪作り・薪ストーブの利用による灯油の削減

生徒、教職員、親父の会、PTA、地域の長老たち、大学生らで構成する山仕事サークル「杉良太郎」などが連携して、間伐、倒木の搬出、薪割りを行って薪を準備し、中学校3学年の普通教室の暖房をすべてこの薪を利用した薪ストーブで行っています。



地域ぐるみでの薪割り

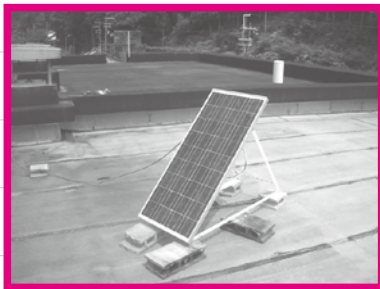


教室の薪ストーブ

02 太陽光発電、風力発電、沢水による屋上散水冷却など自然エネルギーの活用

生徒らが自ら屋上に設置した太陽光発電機で自動車用扇風機を動かして涼をとる、風力発電や太陽光発電の電力を活用し沢水を屋上に散水して冷却するなど、地域にある自然エネ

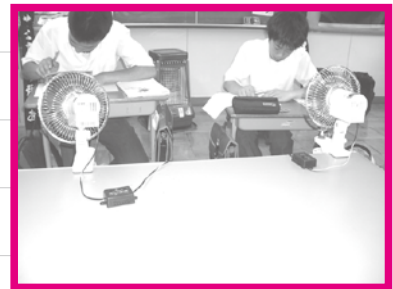
ルギーを活用して、エアコンのスイッチを入れずにすむよう生徒と教職員が協力して様々な工夫を行っています。



生徒が取り付けした太陽光発電



沢水を使った屋上冷却



太陽光発電で動く扇風機

03 他にもいっぱい！

これまでプロパンガスで行っていた「餅つき大会」のもち米蒸しを簡易薪ストーブで行ってエコクッキングも学習したり、屋上でサツマイモを栽培して緑化を行ったり、林業学習を行ったり……。活動はどんどん広がっています。

雲ヶ畑中学校 茶木先生のお話（当日の質疑応答内容より）

山あいの地域ですので、京都市街地に比べて標高が高く、市街地に行くときには、位置エネルギーのおかげであまり自転車をこがなくても行けます（笑）。他にも沢水など、利用していないたくさんのエネルギーがあります。この取組を行うようになってから、生徒達が「この地域は、考え方によってはたくさんのエネルギーがあり未来への可能性がある場所だ」と理解し地域に自信を持って卒業しようになったことが大変うれしいです。



雲ヶ畑中学校
茶木先生

04 これらの取組が、地球と地域を見つめるきっかけに

デジタルで温度指定するだけの灯油ストーブと違い、調節を自分たちでしなければならない薪ストーブ。これを使用し始めてから、生徒らは、室内の高さと温度を測り、天井付近が暑く足元が寒いことを発見。太陽光発電による扇風機で空気を攪拌して暖房の効率化を行うようになりました。また、廊下に積み上げられた薪の山が小さくなることからエネルギーの有限性を確認、視覚的にエネルギー環境問題を捉えられるようになっていきます。こうしたことが、林業に携わる地元の方々、薪を作ってくれた皆さんに感謝をすることにもつながり、体とともに心も温まっています。

京 都環境フェスティバルは、当センターが4年前から主催者の一員としてテーマゾーンの企画・運営に関っています。今年は「省エネで心地よい住まい方、暮らし方」をテーマに、暮らしのCO₂削減・光熱費削減と快適性のアップにつながる住宅建材の「賢い選択」をPRしました。

シングルガラスとペアガラス・エコガラスの断熱性の違いを体感するコーナー、断熱材の性能を感じる「断熱 vs 非断熱」コーナーなど触れる展示もおき、両日も来場者で賑わいました。また、京のアジェンダ21フォーラムと共催で「家庭の省エネ相談所」も開設し、2日併せて230家庭に省エネアドバイスをを行いました。

テーマゾーンでは…



写真：

1：ガラスの省エネ効果比較実験

2：省エネ住宅についての掛け軸型展示

3：断熱材の効果比較実験

センターブースでは…



写真：

1・2：「推進員の7つ道具」を使った啓発

3：みどりのカーテン紹介コーナー

「いっせいのせい」の掛け声と共に手回し発電機を持った4人が40W電球を点けるため一斉にハンドルを回します。ほんのり明かりが点きますが長くは続きません。これは温暖化防止推進員さんが電気の大切さを知ってもらうため作られた工作キットのひとつです。センターのブースでは出前授業などで推進員さんが使う教材を「推進員さんの7つ道具」コーナーで展示し、来場者に体験してもらいました。

他にも、府内のみどりのカーテン取組紹介や京都に現れる温暖化の影響について答えてもらうクイズコーナーの3コーナーを設置。実践研修の場として、推進員さんにスタッフとして関わっていただき、クイズの実施や展示の解説をお願いしました。推進員さんからも「一般の方対象のパネル解説は、相手の驚きも伝わってくるのでやっていて面白かった」などの声がありました。

その他にも

フードコーナーの京都府庁生協に、「地産地消」の食材を使用したメニュー提供を働きかけ、当センターでメニューの一部のフード・マイレージ算出をしました。展示や13日開催のワークショップでも地産地消が温暖化防止になることをアピールしました。14日午後の谷口キョコトークショーでもセンタースタッフが登場。対談形式で身近な温暖化防止活動を紹介しました。

京都の木の家見学会、各地で開催！

府内各地の工務店（京都府による「緑の工務店」登録）と共催で行う京都の木の家見学会を、11月～1月にかけて開催します。すでに舞鶴・京都での開催を終え、1月からは城陽・長岡京などでの開催を予定しています。お近くの方はぜひともお越しください。詳しい情報は当センターウェブサイトをご覧ください。



京都での構造見学会の様子

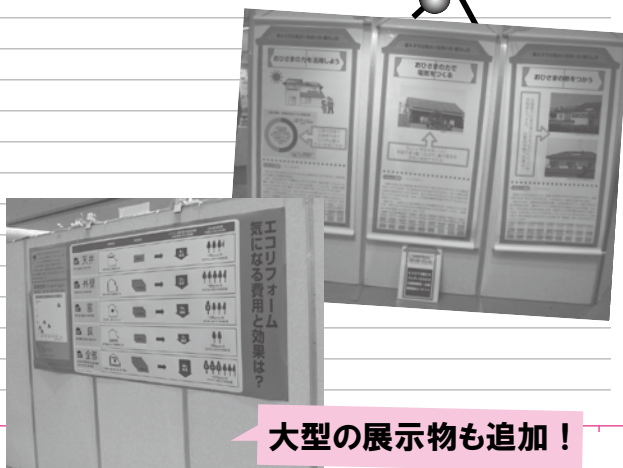
2008.12.02

大山崎小学校で自転車発電体験機贈呈式を行いました

夏休み省エネチャレンジの「学校参加キャンペーン」（最も参加率が高かった小学校1校へ特賞を贈呈するキャンペーン）には55の小学校にご参加いただきました。集計の結果をうけて、大山崎町立大山崎小学校に特賞の自転車発電体験機をプレゼントしました。贈呈式には夏休み省エネチャレンジに取り組んだ3～6年生が参加し、代表者に自転車をこいで電気を作る大変さを体感してもらいました。また、当センターからは冬にできる省エネの紹介を行い、家庭での温暖化対策の実施を呼びかけました。子どもたちからは、「今までは環境のことを考えていなかったけど、気をつけるようになった」「これからも続けていきたい」などの感想をいただきました。

新しい掛け軸型展示を作成しました

昨年作成した「京都に現れた温暖化の影響」、「家庭の省エネクイズ」に引き続き、今年は省エネリフォームや手軽にできる住宅の断熱、そしてフード・マイレージに関する掛け軸型展示を作成しました。また、2500mm×1030mmサイズの省エネリフォームの費用を示した展示物や2500mm×1800mmサイズの省エネで心地良い住まい方・暮らし方をイラストなどで紹介した展示物も作成しました。貸し出しを行いますのでぜひ、ご利用ください。



大型の展示物も追加！

【地産地消で温暖化防止フード・マイレージでCO2を減らそう！】

- (1) 他国より際立って大きい日本のフード・マイレージ
(9,000 億 t・km)
- (2) 日本人一人当たりのフード・マイレージは年間 7,000 t・km
CO2 排出量はなんと 130kg
- (3) ことわざにもある「三里四方の野菜を食べろ」で CO2 削減

【省エネで心地よい住まい方・暮らし方】

- (1) 家のつくりやうは冬もむねとすべし！
- (2) 交通事故より身近に潜む＝ヒートショック
- (3) 窓を制するものは省エネを制す
- (4) 素材と枚数で決まる断熱性サッシとガラスの名コンビは？
- (5) 窓を変える3つの方法リフォーム編
- (6) 今すぐできる省エネ大作戦 窓の手作り省エネリフォーム実験
- (7) 今すぐできる省エネ大作戦 窓の省エネ効果を高めるお手軽な方法は？
- (8) 今すぐできる省エネ大作戦 「すだれ」と「みどりのカーテン」
で夏も太陽光と仲良くおつきあい
- (9) 断熱＝省エネ＋快適！
- (10) 省エネルギーのポイントは遮熱と日射遮蔽
- (11) 断熱材いろいろ！
- (12) 今すぐできる省エネ大作戦 断熱マットを敷いてみよう
- (13) 今すぐできる省エネ大作戦 足元を暖かくして暖房を快適に
- (14) 屋根・天井、壁、床もリフォームで断熱可能！
- (15) 断熱材の効果を実験で確かめてみよう！！
- (16) おひさまの力を活用しよう
- (17) おひさまの力で電気をつくる
- (18) おひさまの熱をつかう
- (19) 木が燃える炎を見ながら冬を暖かく過ごす
- (20) 雨水タンクで節水計画雨水とも仲良く暮らそう
- (21) 植物の力で夏を涼しく

積金しながら京都府地球温暖化防止活動推進センターをサポートできる

「ほくとエコロジー積金」は、月々積み立てるだけで、利子とは別に寄付も出来る商品です。取扱期間終了時の給付契約総額の0.02%相当額を京都北都信用金庫が拠出し（預金者の負担はありません）、当センターに寄付していただく仕組みです。店頭金利より0.15%もお得で、今なら先着で「携帯マイ箸」ももらえます。お近くに京都北都信用金庫のお店のある方は、是非ご検討下さい。

京都北都信用金庫「ほくとエコロジー積金」スタート

取扱期間：～平成21年3月31日（火）まで
 契約期間：5年（掛込回数 60回）
 積立金額：毎月1万円以上（千円単位）
 適用金利：ご契約時のスーパー積立（3年以上）
 店頭表示金利プラス0.15%

下記の団体様よりご寄付をいただきました

「財団法人京都市駐車場公社」様より
<http://www.kyotopublic.or.jp/>

平成20年8月23日に行われた「夏休み！エコロジー&盲導犬スペシャル2008」（地球環境問題&盲導犬育成事業の啓発イベント）の収益金の一部をご寄付いただきました。

「ビストロ食堂mas」
 ～京都サンガを中心にサッカーを応援する
 イタリアンのお店～様より
<http://blog.yahoo.co.jp/kyotomas2007>

「100年後の子供達にもサッカーの出来る地球を・・・」
 をテーマに募金活されており、
 今回手作りアクセサリーの販売収益金をご寄付いただきました。

省エネリフォームイベントのお知らせ

消費者向け省エネリフォームセミナー第2回を開催します！

「すっきり解決！省エネリフォーム基礎情報」

日時：平成21年1月31日（土）13：30～16：30

場所：池坊学園 洗心館6階 第1会議室

（四条駅・烏丸駅地下道26番出口から西へ2分）

講師：岩前篤氏（近畿大学） 他

省エネリフォーム事例報告会 報告者募集中！

2月22日（日）に開催する省エネリフォーム事例報告会で事例を報告して下さるオーナーさん、事業者さんを募集中！

いずれも申込・問い合わせは事務局（担当：木原）まで

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うぉーみんぐ」

（平成20年冬号 平成20年12月発行（年4回発行））

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター

（特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議）

理事長：郡嶋 孝 運営委員長：浅岡 美恵

〒604-0965 京都市中京区柳馬場通二条上る六丁目283番4

TEL：075-211-8895 FAX：075-211-8896

URL：http://www.kcfca.or.jp E-mail：center@kcfca.or.jp

編集：伊東 真吾 川手 光春 木原 浩貴 西澤 浩美 瀬上 佑樹 吉川 春菜

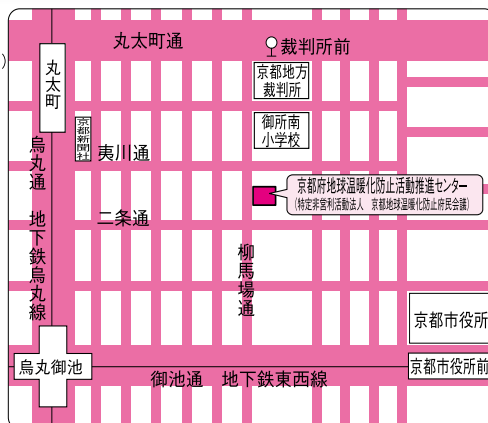
法人の活動を支えてくださる会員を募集しています！

年度会費 正会員（個人）：2,000円 正会員（団体）：3,000円

準会員（個人）：2,000円 準会員（団体）：3,000円

賛助会員：10,000円（会費は平成20年度からの金額）

詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



この印刷物は、古紙配合率100%の再生紙に、大豆インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています。

